議　　事　　録

会　議　名	令和６年第３回一宮警察署協議会（書面開催）
日時・場所	令和６年10月１日（火）～同年10月25日　（金） 書面により開催
参　加　者	１　委員 星野 博 会長　中須賀 朱美 副会長 鈴木 直之 委員　西尾 欣孝 委員　杉山 弘幸 委員 嵯峨 裕英 委員　野原 恭子 委員　鵜飼 保子 委員 衣 飛 委員　榊原 丈晴 委員　ｽｶﾙﾃﾞｯﾗｰﾄ ｷｱｰﾗ 委員 西田 りか 委員　今西 智恵子 委員　大重 宏司 委員 以上14名（定数15名） ２　警察署員 なし ３　有識者等 なし
諮問事項等	外国人との多文化共生を目指した取組の推進
答申等の概要	・外国人コミュニティの把握 ・情報発信活動を効果的に推進するための他機関等との連携
そ　の　他	・本開催は８月30日に実施予定であったが、大型台風の接近に伴い一時延期とした。以後、調整を図ったが開催不可能であったため書面による開催とした。 ・次回開催予定は令和６年11月28日

会議の経過及び発言の要旨
1　会長挨拶
2　署長挨拶（書面により通知した）
3　各種報告
(1) 管内の犯罪発生状況（資料の送付）
(2) 管内の交通事故発生状況（資料の送付）
4　前回の答申に対する具体的施策の推進状況
(1) 諮問事項
効果的な情報発信活動の推進
(2) 答申事項
ア　高齢者に対する情報発信活動の推進
イ　各種広報媒体の効果的活用の推進
ウ　市民が望む情報発信活動の推進
(3) 推進施策（地域課長作成による資料の送付）
ア　答申事項アについて
○年金支給日に合わせて金融機関において、自転車用ヘルメットの着用の促進及び特殊詐欺防止のキャンペーンを実施した。
○各種講話、巡回連絡等の機会を活用して、特殊詐欺被害防止（録音機の取付け）に関する広報を実施した。
イ　答申事項イについて
○一宮総合駅大型ビジョンを活用して、オウム真理教関連事件の風化防止及び特殊詐欺被害防止の広報活動を行った。
○人身事故多発信号交差点マップポスターを作成し掲示した。

記録者	警　務　係　長

会議の経過及び発言の要旨
○新聞報道を活用した広報活動を実施した。
○新聞の折り込みチラシを活用して広報活動を行った。
ウ　答申事項ウについて
○夏休みの時期に、子供の連れ去り防止対策として、児童が好きなクワガタ虫を贈呈するなどして児童の印象に残る広報活動を行った。
○ゴーグルを使って、飲酒運転の危険性や反射材の重要性を体感する体験型講話を実施した。
○地域の情勢に応じた交番等ミニ広報誌を作成し配布した。
5　諮問
(1) 諮問事項
外国人との多文化共生を目指した取組の推進
(2) 諮問事項の設定理由（警務課長作成の資料を送付）
全国的に在留外国人数は増加傾向にある。しかしながら、日本の文化、言語、生活習慣等の相違により地域社会になじむことができず、また行政機関等から適切な支援が受けられない等の理由から、犯罪の被害者又は加害者となることが懸念される。こうした情勢を踏まえ、警察では、地域社会で共に生活する外国の方を孤立化させないように各種活動を推進することが望まれている。国籍や民族の違いに関わらず、全ての住民が共に安心して暮らせる社会の実現に向け、皆様から御意見をいただき、今後の警察活動に生かしていく。
6　協議
委員　・　警察により、外国人が多数在籍する企業や団体に対して、講話等

記録者	警　務　係　長

会議の経過及び発言の要旨	
	を行うのは、とても良いと思う。講話を受ける外国人のみならず、外国人を受け入れる側の企業等との連携も増し、受入れ側の責任を果たすように指導もでき、様々な効果が得られると思う。
	外国の方が相談しやすい環境を構築する必要性を感じている。
	国内のルールに関しては、外国人にも日本人同様に扱う必要があると思う。日本語を学びながら日本の法律やルール、マナーを学べる教材等があるといいと思う。
委員 ・	警察が配布する防犯等のチラシに二次元コードを付け、日本人向けと外国人向けとを分けることなく発信することが良いと思う。
委員 ・	異なる文化を知るきっかけとなる交流の場を設けたり、情報に触れる場が作れたらいいと思う。あらゆる機会を通じて情報発信していくことが大切だと思う。他機関が主催する外国人が集うイベントに参加、協働して、情報発信をされると良いと思う。
委員 ・	外国人が地域社会で孤立しないように外国人コミュニティへの情報提供、外国人に対する地域安全や交通安全対策、犯罪の未然防止のための講話を実施してほしい。
委員 ・	言葉の違いが大きな壁になっているため、警察においても、精度の高い通訳・翻訳機の導入が必要不可欠になると思う。
	生成ＡＩの進化により、今後更に世界の枠組みが急速に変化していくと思う。不安もあるが、社会の連携、互いの理解が、より必要になると思う。
	ＳＮＳ等を活用して、外国人向けの相談サイト等を立ち上げては

記録者	警 務 係 長

会議の経過及び発言の要旨
どうか。
委員　・　日本人に対してもヘイトクライム等、人種や国籍の差別をなくす
ための啓発活動は必要だと思う。
警察の方々の多文化共生への理解を更に深めるために研修の機会
を充実してはどうでしょうか。
委員　・　警察で作成されたチラシ等の資料なら、私が勤務する機関でも配
置することができると思う。
委員　・　市役所等と連携し多言語の冊子を配布することも必要だと思う。
外国人向けの日本語教室との連携、市役所主導で開催されている
「日本語ひろば」等との連携も良いのではと思う。
委員　・　文化や生活習慣の相違により、外国の方から辛い思いをさせられ
たことも昔はよくあった。文化やマナーに関する情報も発信できた
らすばらしいと思う。
委員　・　交流イベント、各種フェスティバル等、様々な場において情報発
信を推進することが大切だと思う。
委員　・　防犯対策や交通ルール等は、機会あるごとに繰り返し伝えていく
ことが重要であると思う。警察官が直接現場に出向き「生の声」を
伝えることは良いと思う。
委員　・　ステッカー等の啓発品を外国人向けに工夫し、日常生活の中で目
に留まりやすいいように工夫することも大切だと思う。
110番通報における言葉の壁や通報に関する情報の提供を行うこと
で外国の方にも安心感を与えることができると思う。

記録者	警　務　係　長

会議の経過及び発言の要旨
7　答申
(1) 外国人コミュニティの把握
(2) 情報発信活動を効果的に推進するための他機関等との連携
8　その他
次回開催予定は、令和６年11月末頃とする。

記録者	警 務 係 長